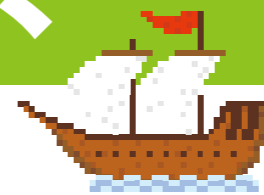
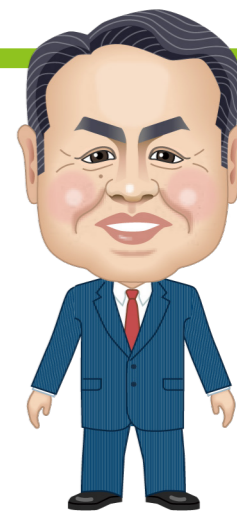


香川大学で見つけた、 新しい自分。



What's Next in
FUTURE



聞き手/学長イメージキャラクター「ゆきのすけ」



インタビューの動画が
ご覧になれます。

現役香大生2人に聞く香川大学ストーリー

大学での授業が再開した初夏のある日、
香川大学の広報アンバサダー「ゆきのすけ」が、
2人の現役香大生に進路決定から大学入試、
大学生活について聞いてみました。
香川大学入学のリアルなストーリーが、
あなたの進路選択や受験の参考になればうれしいです。



教育学部(家庭領域)2年
入江紗若さん/香川県立坂出高校出身



医学部医学科4年
岡崎郁弥さん/香川県立丸亀高校出身

香川大学以前

高校生の時に考えていたこと
頑張っていたこと。

ゆきのすけ(以下ゆき) 入江さんも岡崎さんも香川県のご出身なんですね。まずはお二人の高校生の時からお聞きしたいと思います。当時、将来や大学受験についてどう考えていましたか？

岡崎さん(以下岡崎) 僕は中学生の時から医師になると決めていました。大学受験の時には本当に医師になれるのか、やはり不安を感じていました。

入江さん(以下入江) 私も将来を考



えたのは中学生の時。苦手な英語をイチから教えてくれた先生に出会い、「こんな先生になりたい」と思いました。高校生の時には、家庭科の先生になろうということも決めていました。

ゆき いろんな選択肢から、香川大学を選んだ理由は何でしたか？

入江 教育学部があつて、キャンパスや先生の雰囲気がい大学がいいなと思っていたのです。香川大学のオープンキャンパスにも行きました。志望していた家庭領域の見学をし、先生や先輩と「どんな勉強をしているんですか？」と話をすることで、自分の学ぶ場所の雰囲気がよくわかりました。将来は香川県で先生になりたいと思ってい

の積み重ねが大事だと。でも勉強だけではなく、好きなこともやりたくて。学校では演劇部に入り、学外の劇団にも参加。そこで小学生対象の演劇ワークショップなども取り組みました。推薦入試のときにお話したのですが、このワークショップで、演劇を使った教育の可能性もあるんじゃないかなと思っただけです。まさか入試でこの経験が生きてくると思いませんでした。

ゆき いま振り返って、受験で「やっておいてよかった」と思ったことはありますか？

岡崎 目標の立て方を意識することをお勧めしたいです。まずは何か月かの長期で目標を考えます。例えば「この夏じゅうこの単元は分かるようになる」と決めて。次に1週間単位で何をす



したし、香川大学には幅広い附属学校園があつたのも決め手になりました。

岡崎 僕は関西以西の大学の医学部を考えていましたが、医学部しかない単科大学よりもいろんな学部の人と関われる総合大学を希望していました。医学生だけの世界だと視点が偏ってしまふのではないかと、違う視点を持つ人たちとも出会える場所がいいと思って。香川大学は後期日程で受験しました。後期になると、合格後2〜3週間で入学準備をしないと行けない。ならば地元の大



学にしようと思ったのです。

ゆき 受験は大変だったでしょう…(しみじみ)。入江さんは推薦で受験されたのですね。

入江 推薦とはいえ一般入試の準備もしないと行けないので、受験はすごく大変でした。高1生のときから予習復習

部活など好きなことを頑張るのも大事!



るかを考えます。「この参考書のここからここまでやろう」と具体的に、スケジュールはちゃんと余裕をもって決めます。そして、1日単位で何をするかを考える。スケジューリングは大切だと思えました。

ゆき 勉強以外にも応用できそうな考え方ですね。苦手科目はどう勉強していましたか？

入江 私は数学が苦手です。恥を捨てて教科書の基礎的なところに戻って、分からないところを学校の先生に聞く、ということを繰り返していました。

岡崎 僕も苦手科目にはいちばん時間をかけていました。単語を覚えるなどは習慣化するのいいと思います。





ゆき 実際に香川大学に入
学してどうでしたか？

入江 先ほど岡崎さんが
言っていました。他学部の
友達ができるよさというの
は想像以上でした。1年生
は全学共通科目を他学部
と一緒に学ぶのですが、学部
が違うだけでこんなに価値
観や考え方が違うのかと驚
きました。ひとつの問題に
対して、ある人は経済の観
点から、別の人は心理の観
点から。「えっ、そこから切
り込むんだー」と新鮮で、

人って勉強している内容によって見方が
変わるのだと知りました。価値観の違
う人と話ができるのは面白いです。

教育学部では1年次から附属小学校
などを訪問しますが、そこで学校の先
生のすごさを感じました。子どもの反
応を見ながら臨機応変に授業を進める
先生を見て、自分は今まで生徒の側
にいたけど、これからは先生の立場でもの
を見ないといけないのだ、ということに
気づいた瞬間でもありました。

ゆき いろんな視点に気づく1年次だっ
たんですね。岡崎さんはどうですか？

岡崎 医学科は講義内容のレベルが高い
です。別の医学部に通う友人と勉強内容



大学のその先へ

患者さんに、生徒さんに 寄り添える「先生」になりたい。

ゆき いま、将来についてどんな夢を描
いていますか？

岡崎 医師として働いているうちに医
師としての目線になってしまおうと思
うのですが、患者さんの目線になって寄り
添える医師になりたいと思っています。

入江 いろんなことを経験して、それを
生徒に還元できる先生になりたいです。

授業の中の余談でも教室外でも「こん
なことがあったよ」と伝えられたら、生
徒さんが迷ったり悩んだ時に、支えにな
れるかもしれないと思います。

ゆき 最後に、高校生や受験生の方に

メッセージをお願いします。

入江 いま好きでやっていることがいつ
か役立つと思います。高校生の皆さん
は、好きなことは積極的にやったりほう
がよいと思います。ダラダラせずに切り替
えができるので、勉強も頑張れるのでは
ないでしょうか？

岡崎 医学部には学生に寄り添って
くれている先生がいます。患者さんに寄り
添う附属病院の先生方も多いです。そ
んな先生方の姿勢を学ぶことで、自分
の理想の医師像に近づけると思います。
ぜひ一緒に香川大学で学びましょう！

いま、香川大学で

学部が違えば、考え方も違う！ それが香川大学のいいところ。

人って勉強している内容によって見方が
変わるのだと知りました。価値観の違
う人と話ができるのは面白いです。

について話すことがあるのですが、同じ内
容でも、香川大学の授業には深く掘り下
げた詳しいものが多くあると感じます。先
生との距離も近くて、成績が振るわな
かったら先生から呼び出しがあるのですが
(笑)、怒られるのではなくむしろ相談の
場。「こういうふうに勉強したらどうかな」
などとアドバイスをいただきます。

ゆき 医学部はよくみんなで勉強を教え
合っていますよね。

岡崎 試験が多く勉強は大変なので、み
んなで協力して乗り越えていこうという
雰囲気がありますね。友達に教えること
で自分が教えられる、ということを実感し
ています。

ゆき いまお一人が頑張っていることと言
えはなんですか？

入江 私はSTUDY FORTWOと
いう活動をしています。これは大学生から
不要になった教科書を譲ってもらい、必要
な人にリセールするという全国的な活動
で、得られた収益を海外の子どもたちの
学習支援に活用しています。私は香川大
学支部の支部長としてこの活動に取り組
んでいます。誰かの人生をいい方向に変え
られる、間接的に途上国の教育に携わる
ことができるという点にやりがいを感じて
います。自己犠牲ではなく、誰もが笑顔に
なるボランティア活動だと思っています。

岡崎 私はバドミントン部に所属してい

ます。いま部長をしているのですが、70人
近い部員がいるので、常にみんなが満足で
きる練習ができるようにと考えています。
練習用のコート数には限りがありますし、
遠征も大人数で参加するので大変です
が、仲間との時間は楽しく、やりがいを感じ
ています。

ゆき 自分自身を見て、「高校時代より
バドミントンアップしたな」と思うところはあ
りますか？

岡崎 高校時代と今を比べるといろんな
世代の人と接するようになりました。医
学部では再受験者も多いので、30代以上
の同級生もいます。医師の先輩や先生な
ど、さまざまな世代の方と話すことでず
いぶん視野も広がったのではないかと思
います。他には、勉強と部活を余裕をもつて
できるように頑張っています。

入江 生まれた場所や文化が違う友達と
接することで、違う価値観を知ることがで
きますよね。多様な意見がある中で、自分
の意見をちゃんと伝える力が身についたと
思います。STUDY FORTWOの活
動に関していえば、支援国のことをもっと
詳しく理解したいと思うようになりまし
た。どうしたら多くの人に活動を知って
もらえたり、多くの本を集めることができる
んだろうと、考えることが増えましたね。

ゆき 大学での経験で、ご自身の考えが
さらに深化しているんですね。

はじめまして、「ゆきのすけ」です。

学生と大学スタッフが一緒に作った！ 新しい香川大学のキャラクター



フラッシュモブの動画が
ご覧になれます。



香川大学の学長イメージキャラクター「ゆきのすけ」が誕生しました。
「ゆきのすけ」は算学長の幼少期のニックネーム。広報アンバサダーと
して広報室が企画し、学生や大学スタッフと一緒にキャラクターデザイ
ンや、ぬいぐるみの製作をすすめてきました。そのお披露目を2月、フラ
ッシュモブで行いました。
その日、広報室インターンシップに参加した学生が企画する「ランチ密
着」の取材のため、本学のペーカリーカフェSORAMIを訪れた算学長。
取材を受けていると突然音楽が流れ、その場にいた人たちが歌って踊
りだします。実はこれ、教育学部音楽研究室、ダンス部、合唱部、教職
員のみなさんたち。驚いたようすの算学長にぬいぐるみを渡し、「ゆきの
すけ」の誕生をみんなでお祝いしました。
今後さまざまなところに登場する「ゆきのすけ」を、どうぞよろしくお願
いいたします。

